

地区の概要

- 笠原地区全体の農地面積は481haであり、大正時代の耕地整理により10a区画に整備された地区である。
- 笠原土地改良区では、農業者の高齢化、担い手の減少により、今後の同地区での担い手の確保や水田農業の維持が課題となっていた。

取組のポイント

- 平成28年秋、笠原土地改良区の役員と担い手間で話し合いが行われ、土地改良区賦課金（3,980円/10a）は地権者負担とし、賃借料は田6,000円/10a、畑0円で貸借とすることで合意された。
- 農地中間管理事業により平成29年12月に地権者409人から機構が借入、202人の公募応募者へ転貸した。

【転貸面積】

250.8ha

【転貸期間】

平成29年12月1日～平成39年11月30日

転貸後の耕作状況

